

東京都内救急搬送者は、毎年6月頃より増えはじめ、7・8月がピークとなります！半数は65歳以上！



©2011 練馬区ねり丸

熱中症を**予防**しよう！



練馬の夏、無事に乗り切るための4か条

梅雨時や夏終わりも注意！

□その1

こまめに水分・塩分補給
のどが渴かなくても、
水分をとりましょう！



□その2

エアコン・扇風機を上手に活用
命を守るためにも、暑い日には夜間も
冷房を使用しましょう。
※冷房時の室温は28℃を
目安にしましょう



□その3

暑さを避ける
保冷グッズ・氷枕などの活用、
外では日陰で休むなど。



□その4

屋外での長時間の作業は控える
暑い日に屋外で長時間、作業や
運動をすることは控えましょう。

「自分はだいじょうぶ」と思うことが、いちばん危険です。我慢も無理も禁物です。

こどもはおとなより、熱中症になりやすい！

～保護者の方に知ってほしい、こどもの特徴～

特徴1 思ってる以上に、おとなより弱いんです。

こどもは、体温を調整する機能がまだ整っていないため、大人よりずっと暑さに弱いです。熱がカラダにこもりやすかったり、気温が体温より高いと、逆に周りの熱をもらってしまうことも。

特徴2 プラス3℃、高い世界にいるんです。

地面の照り返しの影響は、思っている以上に大きいです。大人の顔の高さで33℃のとき、こどもの顔の高さでは、36℃。こどものほうが、暑い中で生きています。プラス3℃って、結構キツイと思いませんか？



特徴3 こどもは、やっぱり「こども」なんです。

あかちゃんは、自分から水をほしいとも言えないし、服も脱げません。少し大きくなっても、遊びに夢中になると遊びっぱなし。自分で体調を管理したり、調整するということはできません。

こどもは、おとなの出番です。



熱中症？って思ったら・・・。

熱中症を疑う症状

汗が止まらない／顔が赤い／足を痛がる／頭がいたい／気持ちが変わるい／だるい
などの症状がある。

- 涼しい場所へ避難
- 服をゆるめて、冷やす※

※冷やすところ | 首・わきの下・足の付け根の内側

水分はとれる？

とれる

とれない

- 水分補給・塩分補給

改善しなければ・・・

- 医療機関で受診

「呼びかけても返事しない」
「意識がない」
「けいれん」

- 救急車を呼ぶ！！**

待っている間・・・

- ・涼しい場所へ避難
- ・服をゆるめて、冷やす※

お問い合わせ

豊玉保健相談所

☎ 3992-1188

北保健相談所

☎ 3931-1347

光が丘保健相談所

☎ 5997-7722

石神井保健相談所

☎ 3996-0634

大泉保健相談所

☎ 3921-0217

関保健相談所

☎ 3929-5381

月曜日～金曜日 8時30分～17時 (土日祝日お休み)